

Prayers Studio

2027年度

トレーニー募集要項



『言葉』ではなく、 『役の気持ち』がその瞬間、 観客に直接伝わってくる』

「そんな演技ができるようになりたい。」
「そんな演技のできる俳優達と作品が創りたい。」

Prayers Studioは、代表・渡部朋彦がそんな気持ちを抱いて
研究をはじめたところからスタートしました。
以来、公演・研究・そして俳優育成を行っている演劇団体です。



ペレジヴァーニエの演劇

ペレジヴァーニエ(Пересивание)とは
ロシア語で「追憶する事」という意味があります。
演劇的に訳すなら「**追体験**」となるでしょうか。

ペレジヴァーニエが起きる時
観客は登場人物の身に起こっている出来事を
まるで自分の事のように感じ、深い繋がりを感じます。
俳優が舞台の上で、真摯に役を生きる時
観客はひきこまれ**普遍的な真実の瞬間**を感じる事ができるのです。

ペレジヴァーニエが起きている瞬間・・・
俳優同士が、自分と、相手役と、そして観客と
心と心で“繋がった”瞬間、とも言い換えることができるでしょうか。

その瞬間を渡部はとても美しいと感じ、
そしてその時の、しんと静かで余計なものがなく、
濃密に意識が集中している様子を
教会や寺院で人が祈っている場面によく似ていると感じたことから、
劇団名を、演劇の**Play**を祈りの**Pray**に変えて
Prayers Studioと名付けました。

『人間の営みの美しさも愚かさも全てをひっくるめて、
嘘をつかず、飾らず、本気で演じるストイックで崇高な芸術家。』

そんな俳優達が大勢生まれて、
いつの日か**美しい「祈りのような」演劇**を目にできること。

Playから、Prayへ。

Prayers Studioは渡部がそんな気持ちを抱いて設立した
“演技研究所”です。



【沿革】

2007年 渡部が仲間たちと自己研鑽の場として「研究会」をスタート。

2008年 俳優を育成する「Edge Project」始動。

2012年 プロジェクトに集った俳優達と第一回公演を行う。
同時に「インストールの途中だビル」にアトリエを構え、劇団として活動開始。
観客参加型公演「ドラマトライアル」を開始すると共に、
レパートリー形式での作品上演をはじめます。

2017年 「トレーニー」システムをスタート。

2019年 多国籍・多言語公演「Andorra」に参加。韓国・日本にて公演を行う。

2020年 リモート公演「12人の優しい日本人を読む会」に渡部・妻鹿が出演。
他、オンライン公演 多数

2023年 ロバート・フリッツ 監督映画『POEM』に渡部・妻鹿・蔭山が出演。
国内外の映画祭の俳優部門において、3名で計20賞を受賞。

2024年 フェルナンド・アラバル『Pray AI』の世界初上演のキャストに、
渡部・妻鹿が抜擢。
韓国のソウルで開催されたワールド2人演劇フェスティバルに招聘され、
スペシャルパフォーマンス賞を受賞する。

2025年 新宿区・神楽坂に、劇場兼稽古場として新アトリエをオープンする。

【代表作品】

シーラ・ディレーニー「A Taste of Honey」

ヘミングウェイ「白い象のような山並み」

岸田國士「デアロログ・プランタニエ」

三島由紀夫「卒塔婆小町」

清水邦夫「楽屋～流れ去るものはやがてなつかしき～」

ハロルド・ピンター「ダム・ウェイター」

土田英生「強がる画家たち」

マーシャ・ノーマン「おやすみ、母さん」

別役実「いかけしごむ」

アントン・チェーホフ「かもめ」

大竹野正典「夜、ナク、鳥」

宮沢章夫「14歳の国」

マーティン・マクドナー「The Cripple of Inishmaan」

スコット・マクファーソン「MARVIN'S ROOM」

Wata nabe
渡部

Tomo hiko
朋彦

舞台俳優

Prayers Studio代表・演出家・俳優
・演技トレーナー
・感情解放カウンセラー...ほか



代表挨拶

演劇は総合芸術です。舞台美術、衣装、照明、音響、演出、脚本等、複数の要素が相まって作品の良し悪しを創ります。その中でも「俳優の演技」が持つ力の大きさと素晴らしさを、多くの人はまだはつきりと知らないのかもしれませんが。「役」という「生きた人間」の体験とそれに伴う感情や考え、「台詞」という言葉の中には取り切れない豊かで巨大な情報、逆に言葉では掘り取れない微かで繊細な情報など多くのものを「生きた人間」は存在自体から観客の心にダイレクトに伝えることが出来るのです。素晴らしい俳優は、舞台上に姿を表しただけで劇場全体の空気を一変させ、佇まいだけで観客の心を感情で一杯にし、眼差しだけで役の過去の喜びや悲しみを瞬時に観客の心にインストールさせる事が出来ます。生きた人間としての俳優の心身の働きが、観劇後の魂が洗われたような清々しさや、新しく産まれ直したような活力に満ちた感覚、そんな素晴らしい感覚を観客に与えるのです。絵画や音楽等、他の全ての芸術と同じように演技にも明確な理論があり訓練法があります。これによって優れた俳優は人の心を感動で震えさせる能力を得ることが出来ます。そんなことの出来る俳優たちを皆さんは世界的な映画や舞台で目にしたり、噂に聞いた事が有る筈です。私は20代の後半にそれを知り、その後の訓練や稽古、本番の中で何度も何度も目にし、また自分でも体験して来ました。これは可能な事なのです。さあ、一緒にあなたという天才的な俳優の演技の芸術を創り上げましょう。

経歴

1993年、俳優を志す。1994年からはU.P.S.にて、奈良橋陽子氏、藤原稔三氏、白峰百合子氏からアメリカ式の演技メソッド(ストラスバーグメソッド、マイズナーテクニックなど)を学び、舞台経験を重ね、プロダクションに所属し映画やテレビ(NHK朝ドラや大河ドラマ)などの現場を経験する。2000年にはロシア人演出家レオニード・アニシモフの下、スタニスラフスキー・システムを学び、劇団スタジオ・ソントゥエを設立し、2004年、スタジオ・ソントゥエ、P.A.T.、劇団「京」の3劇団共同で日本初とも言える本格的レパトリー劇団「東京ノーヴェ・レパトリーシアター」を設立。通年のレパトリー公演を開始して、ワーニャ伯父さん(アーストロフ役)、どん底(ペーペル役)、桜の園(エピホードフ役)、かもめ(ソーリン役)、三人姉妹(クリュイギン役)、ハムレット(司祭役)、白痴(ガーニャ役)、コーカサスの白墨の輪(ショッタ役)など数多くの有名作品にてメインキャストを演じた。2012年に独立しPrayers Studioを設立。レパトリーシアターの要素に加え、観劇後の対話と俳優体験で更に深く作品を鑑賞する新しい演劇提供の形「ドラマトライアル」をスタート。劇団の全ての作品の演出を手がけ、俳優育成を行う。2016年には、俳優としてアメリカのトップアクティングコーチ、イヴアナ・チャバックの初来日WSに参加し選抜16名中最高の評価を得て同氏より絶賛される。2019年には日韓中合同企画公演「アンドラ」パイダー役で韓国の大学の演劇学教授らを含む観客から高い評価を受ける。2022年にはアメリカの映画監督ロバート・フリッツ氏より直々にオファーを受け、同氏脚本監督作品「POEM」にて5つの映画祭で最優秀男優賞などを受賞。2024年にはフェルナンドアラバル最新作「Pray AI」に出演、ソウルで開催されたワールド2人演劇フェスティバルに招聘され、スペシャルパフォーマンス賞を受賞するなど、海外からも高い評価を得ている。

指導実績

これまで累計2,000名以上の俳優に演技指導を行う。2006年～2008年にはNHKにて朝ドラ・大河ドラマ等の俳優訓練に複数関わる。2008年Prayers Studioの前身である EdgeProjectをスタート。自身の経験から俳優の演技の悩みに合わせて複数のワークショップを開催する。スタニスラフスキーシステムによる台本分析を論理的で非常に分かり易く説明する「ホンが読める役者になる!～スタニスラフスキーシステムによる戯曲読解法～」や、本物の感情を扱えるようになるためにマイズナーテクニックをはじめ、ステラアドラー、ウタ・ハーゲンのメソッドなどを組み込んだ「Basicクラス(1～3)」、他にもキャラクターライゼーションクラス、目標達成のための「創り出す思考を学ぶクラス」などがある。近年では大々的に募集していないにも関わらず、俳優・声優など演技のジャンルを越えて個人レッスンの問い合わせが後を立たない。論理的でわかりやすい確かな指導で生徒たちは所属オーディションへの合格、Netflixドラマへの出演、NHK作品への出演、レギュラー作品の獲得など目覚ましい実績を残している。

学習内容

【必修項目】

●戯曲の読解法。

(スタニスラフスキー・システムによる「行動分析のメソッド」)

●感情を「真似る」「表現する」演技でなく「**行動する**」演技を学ぶ。

(スタニスラフスキー・システム、マイズナーテクニック)

●感情を「真似る」「表現する」でなく、 「**本物の感情を使う**」ための各種エクササイズ。

(感情解放、想像力の訓練、レペティション、他)

●台詞だけでなく、非言語のすべての働きかけを使って演じられる為の「**行動の訓練**」。

【追加項目】

●イヴァナ・チャバック・テクニック、ペラ・レーヌ・システム、キャラクターライゼイション 他 必要に応じて訓練します。

●統一場心理学、ブレインスポッティングなど心理学や脳科学のテクニックも学び活用し、 演技力を磨くだけでなく、**人間としての成長**を目指します。

【実践訓練】

年に2回の発表では、**本番さながらの作品創り**をします。

今迄一度も舞台に立った経験のない人も、ここで実践を積むことができます。

俳優2～6名に対し、担任講師が1人つき、徹底的に指導します。

道具や衣装の準備、作品を創る過程、俳優としての在り方、

本番で良いパフォーマンスを発揮するための“準備”など

演技以外の部分も惜しみなくお伝えします。

講師

Prayers Studioの特徴は、シーンを教える担任講師も**現役の俳優**だという点です。

日々進化する演劇・映画業界に精通している為、

いつまでも古い技術にしがみつ়く事なく、常にアップデートして行きます。

また、自らの経験を通じて体感した

実際に本番の現場で効果を発揮するテクニックやその使い方

緊張への対処や観客に対する意識など「**具体的な使える技術**」を伝え、訓練します。

統一場心理学、ブレインスポッティングなど、

心理学、最先端脳科学の専門家とタッグを組んでいます。

カリキュラム

1年間の流れ

初期 トレーニング

俳優が役の人物の真似をする「説明の演技」でなく
「役を生きる演技」では、
他人事の台本のシチュエーションやセリフを「自分ごと」に変換できる能力が必要です。

そのために最も基礎となり最も重要なのが、
普段の自分の「無意識」の思考や行動の選択に「気づける」ようになる**注意力の育成**です。
フォーカシングは自分の身体感覚に注意を向け、繊細な感覚の変化を感じ取ることから、
自分の内部で無意識に刻一刻と変化する
「感情」「思考」「ブロックの発動」などに**気づいていくための訓練**です。

これができるようになって初めて、
普段気づいていない演技の「無限の引き出し」を開けられるようになるのです。

台本読解 分析

スタニスラフスキーの台本読解法「**行動分析法**」を学び身につけます。
役はすべての瞬間「無意識」の「目的」を持っており、
すべての時間無意識にその目的を遂げるべく、あらゆる行動を繰り出します。

目的の見つけ出し方設定の仕方、行動の選択の仕方・生み出し方、
そのために台本をどう分析し何を読み取り、
役の無意識の目的と行動を舞台上に導き出すのか。
その方法を学び、体得できるように訓練します。

短いシーンの 実践

上記で学んだ方法を体得すべく短いシーンを使って訓練します。
役の台詞を他人事でなく自分事とし、
演技に**リアリティーと個性**を吹き込みます。

たくさんのシーンにあたる、いわば“**ドリル**”の期間です。
自分なりに分析をし、稽古をして見せていただきます。
個々にあわせたサジェスチョンで、
自分の理解度や癖・弱い部分を知り、鍛えるべき点を具体化します。

シーンを創る

2～6人程度のチームに1名講師がつき、長めの台本を使って訓練をします。
1年を通して**2本の作品**を創り、最終的に**アトリエでの発表公演**を目指します。

Prayers Studioがもつテクニックを実践を通して学び、体得する期間です。
また「本番」の機会は俳優にとって欠かせない訓練の場であり、成長の場でもあります。
本番という緊張状態でも力を発揮できてはじめて、
俳優としてその技術を使いこなすことができるのです。

その他、合間にレペティション、想像力、内的行動の訓練等

M e g a
妻 鹿
A r i k a
有 利 花

舞台女優



Prayers Studio
女優・講師
Basic1・2・3クラス
キャラクタークラス
シーンスタディクラス
演劇教室…ほか

受講生へメッセージ

言われてることはわかるができない。
そもそも言われている意味がわからない。
そんな不毛な演技指導ではなく、理論的
で実践的な指導をこころがけています。
その人のレベルにあわせた、個性の
伸びる演技指導で評価を得ています。
悩むのではなく、どうやったら自分が
面白いと思える演技ができるのか、
そのことを一緒に追求していける、本物の
芝居好き、演技がやりたくてたまらない人
との出会いを期待しています。

経 歴

女優。Prayers Studio旗揚げメンバー。
桐朋学園大学演劇科卒業後、
唐十郎率いる劇団唐組に所属。
退団後、フリーで「身毒丸」他、
蜷川幸雄演出作品へ多数出演。
柚木佑美に師事しマイズナー・テクニクを
学び、NHK朝ドラ・大河ドラマ等の俳優訓練
に多数関わる。
レオニード・アニシモフに師事し
スタニスラフスキー・システムを学び、
東京ノーヴイ・レパートリーシアター所属を
経て、現在はPrayers studioメンバーと
なる。「相棒」他、テレビや映画へも多数
出演している。
長崎県佐世保市出身。映画「精霊流し」
では、方言指導を行っている。
アクティングトレーナーとしては、NHK、
サントリーウエルネス(株)にて俳優、
一般の方向けの演技レッスンをしている。
2022年にはロバート・フリッツ氏より代表
渡部と共に直々にオファーを受け、映画
「POEM」で主演を務めた。FOCUS国際
映画祭他、10以上の映画祭で最優秀女優
賞、主演女優賞などを受賞。2024年には
渡部と共に「Pray AI」に出演、韓国ワールド
演劇フェスティバルでスペシャルパフォー
マンス賞を受賞した。

指 導 実 績

スタニスラフスキーシステムをはじめ、
マイズナーテクニクの指導を得意とする。
年間80人以上の俳優に、演技の基礎となる
Basic1クラスを指導している。
上級者向けのクラスとしては、
ステラ・アドラー、ウタ・ハーゲンのメソッドを
用いたBasic2・Basic3を開講。
2022年度からは、シーンスタディクラスを
開講している。
2021年～2022年にかけて、
サントリーウエルネス(株)において
アンバサダーとして一般の方向けの演劇を
使ったクラスを開催。毎月200人以上の
参加者に対しレッスンを指導した。

Naka jima
中 島
Yo ko
陽 子

舞台女優



Prayers Studio
女優・講師

受講生へメッセージ

とにかく小劇場から映像から大劇場まで色々な経験はしてきたつもりです。そしてPrayers Studioの演技方法もそれなりに勉強し私自身も本番も経験し、色々な体験もし、今まで色々な方にも私が伝えられる事はお伝えしてきました。以前トレーニーを経験された方からも『他の現場でもあの時教えてもらった事が本当に役に立ってます!』とのお声を聞くと、Prayers Studioの演技方法が少しでも俳優の皆さんに役に立ってる事は本当に嬉しいです。皆さんがPrayers Studioの演技方法を学び、体験する事で皆さんの俳優人生がより豊かになるようご協力できたら嬉しいです。

経 歴

高校演劇から演劇をスタートし、20代はアングラ系小劇団パラノイア百貨店に所属。劇団解散後フリーで活動し、宮沢章夫『遊園地再生事業団』やWAHHAHA本舗佐藤正宏『踊る座長』などその他に数多くの作品に出演する。

その後、事務所に所属しドラマ(本広克行監督・香取慎吾主演『蘇る金狼』準レギュラー、岩井俊二監督『if 打ち上げ花火、下から見るか? 横から見るか?』、『ショムニ』ゲスト主役、ほかにも昼ドラマ準レギュラーなど)や舞台(故蜷川幸雄『身毒丸』(初演:武田真治、藤原竜也)シリーズをはじめ、数多くの蜷川幸雄作品など)と幅広く活動する。

その中で演技の質や芝居臭い“演技”ではなくリアルで圧倒的な演技や本当の交流が生まれる為にどうしたらよいか?と考えていたところ、代表渡部や妻鹿をはじめ、演技力向上の意識が高い仲間達に出会い、共に勉強会をスタートする。これが後のPrayers Studioとなり、現在にいたる。

指 導 実 績

トレーニー制度当初より講師として指導を開始。培ってきた現場の経験を活かし、演技のみならず、舞台セットや小道具の使い方など実践的な工夫を凝らした指導を得意とする。メンバーオーディションではオーディション合格者歴代7名のうち5名を担当し、見事合格へ導いた実績をもつ。2019年に新しく開講されたプラクティスクラス(トレーニーよりさらに実践的なクラス)ではこれまでの実績から初年度の担任に抜擢された。

Ko ba e
小八重
Tomo
智

舞台俳優



Prayers Studio
俳優・講師

受講生へメッセージ

演技力を高めたいけどやり方がわからない。

自分のセリフが言葉だけの軽いものになってしまう。この現状を何とかしたい俳優の方は、トレーニー期間で解決の糸口が見つかります。新しい演技に対する考え方を提供できます。

経歴

俳優。当初声優を目指している中で、自分の演技の質をあげる必要を感じていたところ、当時、代表の渡部が開いていたワークショップを見つけ、参加する。以来、代表渡部に師事し、スタニスラフスキー・システムを学び、2012年よりPrayers Studioメンバーとなる。

現在までにPrayers Studioではドラマトライアル「白い象のような山並み」・「ダム・ウェイター」に出演。「かもめ」では皆の優しいおじいさん「ソーリン」を演じた。

2019年・2020年には이재상씨 (イ・ジェサン氏)演出の日韓合同舞台「Andorra」(作:マックス・フリッシュ)に出演。

韓国公演・日本公演のどちらにも参加した。

2022年より이재상씨 (イ・ジェサン氏)作・演出の日韓合同舞台「ひだまり食堂」レパートリー公演に毎年客演として招かれ、NHK Eテレ「先人たちの底力 知恵泉」徳川家康役他、多数出演するなどPrayers Studio外にも活動の幅を広げている。

指導実績

トレーニー制度当初より講師として指導を開始。

スローリーディング(順番稽古)や「驚き」の基礎と実践の訓練を担当し、定評を得ている。

2020年にはトレーニーよりさらに実践的なクラスであるプラクティスクラスの指導も担当し、研究生の公演指導も行った。

Kage yama
Me gu mi
蔭 山 恵 美

舞台女優



Prayers Studio
女優・講師

受講生へメッセージ

わからないまま雲を掴むように演技をしていた頃は、不安で仕方がありませんでした。ダメ出しされてもどうしたら良いかわからないし、当然結果にもつながらず焦るばかり。

でも、ここへきて“ちゃんと”やり方がわかったら。それができるようになったら。心に一本の芯を持って、自信をもってチャレンジできるようになりました。

急がば回れ。

一年、けして長くありません。

かつて生徒だった私が、自信を持っておすすめします。

是非、一緒に学び、訓練しましょう。

お待ちしております!!

経 歴

女優。2009年より代表渡部に師事しスタニスラフスキー・システムを学ぶ。Prayers Studio旗揚げメンバー。Prayers Studio初演の「A Taste of Honey」では主役のジョー役を演じた。その後、現在までにドラマトライアルでは「蜜の味」・「白い象のような山並み」・「ディアログ・プランタニエ」・「楽屋～流れ去るものはやがてなつかしき～」・「強がる画家たち」・「おやすみ、母さん」などほとんどの作品に出演している。2020年には이재상씨 (イ・ジェサン氏) 演出の日韓合同舞台「Andorra」(作: マックス・フリッシュ) に出演し、シスター役を演じた。

2022年にはNHK Eテレ「先人たちの底力 知恵泉」に坂本龍馬の姉・乙女役で出演。ロバート・フリッツ監督の映画「POEM」ではFOCUS国際映画祭をはじめ5つの映画祭にて最優秀助演女優賞などを受賞した。

映画は日本では東京リフトオフ映画祭の公式セレクションとして上映され、観客賞も受賞した。

指 導 実 績

演劇でコミュニケーション能力UP!

「1Day講座」講師(2017年まで開講)

趣味でできる演劇教室 発表会つき

講座「スポットライトクラス」講師

トレーニー制度では初年度より

講師として指導に携わり、

2019年のメンバーオーディションでは

20歳の演技未経験者を

合格へと導いた経験を持つ。

受講者の声

Q:なぜ応募しようと思いましたか？



★以前ワークショップを受講して、リアルな演技とコンセプトが気になっていました。受講するなら本格的に取り組める時にと考えており、一昨年ケーブルテレビの局員をやめた後のタイミングでトレーニーについてHPで知り、いてもたってもいられず申し込みました。

(30代女性)



★かなり前からメソッドは知っていて他のワークショップも通っていたがじっくりくるものがなく転々としていたが、身体の使い方と台本分析と勉強の場、全部が揃う環境が魅力的だと感じた。(30代男性)

★今まで我流で演技をしていて限界を感じたためワークショップでなく一度しっかり演技を勉強したいと思い応募しました。

(40代女性)

★ワークショップでやっている内容を更に踏み込んだ内容を学べそうなことと、最大の決め手は『おやすみ母さん』を観てこんなに心震わせる芝居をしてみたいと思ったから応募に踏み切った。

(20代男性)

★私はここで学ぶ前は台本の構成や意味を読み取ることができず、台本に書かれている言葉を『それっぽくやる』『それっぽく言うてみる』ことしかできませんでした。孤立感から抜け出せず噛み合わない。相手がいてもいなくても『悪い意味で芝居ができてしまう』と思っていました。どうすればできるようになるのか？どうすれば楽しいと感じられるのか？と悩んでいました。

そんな時Prayers Studioのワークショップを見つけて参加しました。

頭がパンクするほど濃密な時間を過ごし、全く未知の領域に踏み入った感覚でした。あまりにも新鮮で凄い体験で、私はすごい劇団さんに出会ったかもしれない！と感じました。

『自分の知らないメソッドが沢山あるんだ！』と初めて知り『ここに来ればもっと自分の知らないメソッドを体感できるかもしれない』『芝居が楽しいと感じられるようになるかもしれない』『芝居の概念が変わるかもしれない』と強く感じた事が応募のきっかけです。

(20代女性)

Q:Prayers Studioはあなたにとって
学ぶのに適した良い環境だったと
思いますか？
どのような雰囲気でしょうか？



★演劇の経験がなかったため、正直最初はかなり引け目を感じていましたが、本当に0から丁寧に教えて頂きました。

新しく知る事ばかりで、教えて頂いてもすぐに体感として分かることがなかなかできずにいましたが、本当に粘り強く丁寧に教えてくださりありがとうございました。良い意味での驚きを感じました。本当にありがとうございました。
(30代女性)

★一人一人をよく見てくださって、どこが足りないのかを指導していただきました。系統立てていろいろな角度から教えてくださりどのようにすれば分かりやすいか常に考えてくださっていました。質問もできる環境だったことなど良かったことが沢山あります。

また、どの授業も楽しかったです。
(50代女性)

★稽古場で色々試せるのがいいです。練習相手があり、意識レベルが高いと思いました。
(30代男性)

★とにかく、目指すものが同じな仲間と、妥協することなく踏み込めたのが本当に良かった。教わったことを自分たちで理解しようとして話し合っ
て自主稽古をしてみたりできたことがよかったです。

オーディションでその公演のために集まった人たちで舞台をするのは、自分じゃ考えつかなかったことに
出会えて刺激的で面白いのですが、同じものを良しとする(交流のある芝居)人たちでそこに
こだわり抜いて演じる時間は、他にはない素晴らしさがあり有難い時間でした。

またそれに向かって全力な講師陣 & カリキュラムで、本当に素敵な有意義な時間でした。

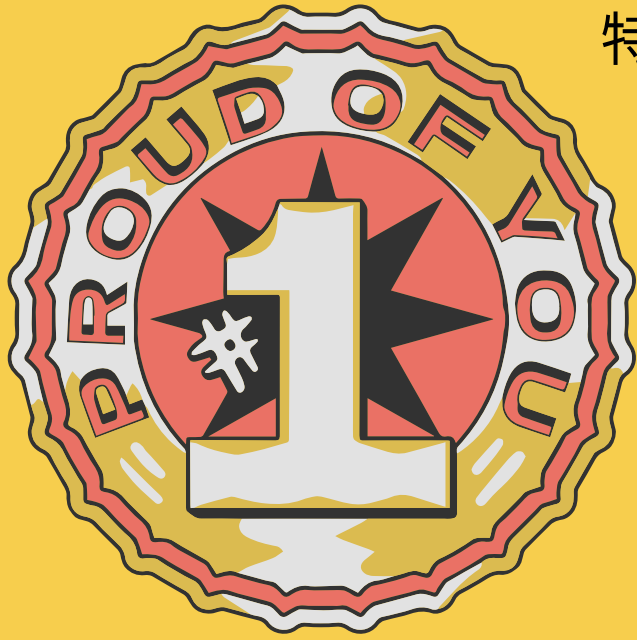
(40代女性)

★とても素晴らしい環境でした。講師陣の熱意が素晴らしく何を言っても絶対バカにされませんでした。

仲間にも恵まれ励ましあいケンカもし、親子ほどの年齢差を超えて稽古できたのがとても楽しかったです。

(50代女性)

Q:トレーニーの1年を経て感じた、Prayers Studioのトレーニングの特徴や魅力は？



★Prayers Studioは、ありとあらゆる追求心を高めていける、また術を学べる場所だと思います。よい意味でありのままでいられる空間、ありのままの自分を強みにしていける空間なのが、この大きな魅力です。

私は自分で認めたくないけれど怖がりで、でも気が強くて頑固なところもあり、思い込みも強かったり、誰かに否定されるのを恐れていることもすぐに見抜かれてしまいました。

何か取り繕ったり自分に仮面を付けることができなくなり、だから安心して自分に素直に向き合うことができました。そんな環境が、とてもありがたかったです。
(20代女性)

★論理的にホンの読み方を教えてもらえる。いろいろな人のテクニックやメソッドを取り入れた具体的、かつ常に本人たちの実践を通して進化してるテクニックを持っている。
(20代男性)

★マイケルチェーホフの心理身体的訓練やスタニスラフスキーのメソッド等、キャラクターのマスク等、他にも行動や目的において演技を訓えてくれるところはあったが、潜在意識や心の部分、自分と向き合うところまで踏み込んで、演技について研究するところはここしかなかったと思う。
(30代男性)

★それぞれの役者の個性とか持ち味みたいなものをよく見極めてくださり、そこを活かした他の人にできない役作り、というところまで指導した頂けるのがすごいと思います。

これは、高額プライベートレッスンを受けて初めて得られるようなレベルの内容ではないかと思いますし、現場では決して教えてもらえず自分自身で何とかするしかない要素だとも思います。

そして、それを教えてくださるだけでなく、一人の俳優として自分で自分自身を育てていくための視点が持てるように、導いてくださいました。

1年終わってもいつでも帰ってきてメンテナンスできるクラスがあるのも魅力です。
(50代女性)

Q: 1年間終了した今、 思うこと。

★私は現在、

プロの声優になるために改めて声優養成所で学びを得ています。

トレーニー期間を過ごして感じたことは、役を演じる前に『わからない恐怖や不案を感じる』ことが圧倒的に少なくなったということです。

また、ディレクションに対して何を求められているのか？求められたことに対して自分が何をすれば効果的なのか？役を演じる上で準備に何が必要なのか？

今感じたものは何？今の自分に足りない必要なものは何か？など、演じる手助けになるものを試してみる術や自身の目的のために必要な課題を浮き彫りにしやすくなり、本当にトレーニーで得たことが沢山今に生かされていると実感しています。

(20代女性)

★「戯曲分析」のために、今までの人生で体験したことがない程、深く自分自身に対して質問を重ね、考えたことが特に印象に残っています。

役と自分自身の人生の経験を重ね合わせることで、初めて役がやっていることが本質的に理解できたり、自分が過去にとっていた行動も、何が欲しくてそういう行動をしたのか改めて気づいたりすることができ、沢山の驚きと発見、感動がありました。そして分析したものを踏まえて実際に稽古をしたとき、分析通りにはいかない難しさを実感すると共に、相手と一緒に創ることの喜びを感じました。

まだまだ役者として入口に立ったばかりですが、教えてもらった事を生かして更に頑張っていきたいです。
(30代女性)

★トレーニーの1年を経て私は『自分のことすら知らない』そして『芝居の“し”の字も知らなかった』のだとものすごく感じました。

Prayers Studioに出会えたこと、トレーニーと一緒に過ごした皆さんに出会えたことは私にとって大きなターニングポイントになりました。芝居を『どうしたら楽しく感じられるのか』を知りたくてこの環境に飛び込んだ私ですが、芝居の概念を面白くないものから面白いものに変化できた、エネルギーに満ちた素晴らしい環境だったと思っています。

(20代女性)

募集要項

応募資格

- ◆心身ともに健康な 18 歳以上の男女。経験問わず。
- ◆自身の役者として・人間としての成長のため、真摯に食欲に学んでいく意欲のある方。

ご応募後の流れ

■1次審査(書類)

2027年2/28(日)必着

※書類審査を通過された方のみ、実技試験の課題をお送りします。

■2次審査 (実技・面接)

2027年3/6(土)、3/7(日) いずれか1日。

参加費用

- ・入所金なし
 - ・48万円(授業料44万+設備費4万)
- ※月約3.7万円

分割でのお支払いも可能です。ご相談下さい。

稽古日程

2026年4月～2027年3月までの1年間

週2回 昼クラス 基本13:00～16:30

※イレギュラー有

4月～6月は火・金予定

その後はグループにより変動します

応募方法

専用応募フォームに必要事項を記入し、写真を添えてご応募ください。



こちらのQRコード、
もしくは下記URLからご応募いただけます。
<https://form.run/@prayerstranee2027>

締切:2027年2/28(日) 必着

※こちらでフォームを確認後、必ず返信をいたします。

翌々日までに返信のない場合はトラブルの可能性がございます。

メール【mail-info@prayers.jp】、もしくは電話【080-7004-8293】にて
お問合せ下さい。

稽古・公演会場

主会場:Prayers Studio神楽坂シアター
(神楽坂駅徒歩3分・江戸川橋駅徒歩8分)

※一部、新宿区・世田谷区の施設を利用

特典

◆成績優秀者は、Prayers Studioの本公演キャストに抜擢の可能性もあります。

◆期間中は Prayers Studio の各種ワークショップを
割引価格で受講いただくことが可能です。

- ・「ホンが読める役者になる!」
- ・Basic1、Basic2、Basic3
- ・キャラクタークラス
- ・統一場心理学in Prayers Studio
- ・ビジュアルリスニング
- ・メンタルトレーニングクラス
- ・アクティングトレーニングクラス

説明会

【日時】2027年2/11(木・祝日)13時〜〈予定〉 参加費:無料
興味がある!程度でもご参加OK。 お気軽にお申込下さい。
※こちらに参加していなくても、トレーニーへのご応募は可能です。

【会場】Prayers Studio神楽坂シアター 東西線 神楽坂駅徒歩3分

【内容】Prayers Studioの理念や授業内容などについて、代表の渡部や講師が
直接皆様とお話させていただきます。
※質疑応答あり。

オンライン視聴も可能です
オンラインをご希望の方は、申し込みフォーム備考欄にご記載ください。

※説明会は90分〜2時間を予定しています。

◆説明会のお申込は下記URL、もしくはQRコードからお願いします。

→<https://forms.gle/ZLM3co2dxmng1BCj7>



お問い合わせ

今回のトレーニー募集に関して、ご質問・ご相談がございましたら
以下の連絡先までお気軽にお問い合わせください。

☎ 080-7004-8293

✉ mail-info@prayers.jp

Prayers Studio公式LINEからもご質問を受け付けております。
公式LINEへは下のQRコードからアクセスいただけます。

